

プラズマディスプレイ

PDP-42FX10

PDP-50FX10

取扱説明書

「据付工事」について

- 本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据付けを行うことを前提に販売されているものです。据付け・取付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。
- なお、据付け・取付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。



K042_ja

販売店様へ

この取扱説明書は据え付け終了後お客様に必ずお渡しして、取り扱い方法の説明を行ってください。

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書及び製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています

警告

異常時の処置

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、アフターサービス連絡先または販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

万一内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、アフターサービス連絡先または販売店に修理をご依頼ください。

万一、本機を落としたり転倒させることにより、キャビネットあるいはパネルを破損した場合は、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、アフターサービス連絡先または販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

設置

本機は設置用のスタンドを付属していません。設置の際は、別売りの当社製プラズマディスプレイ専用のスタンドや壁掛け金具などをご使用ください。本機は大型で質量があるので、ぐらついた台や傾いたところを避け、安定した場所においてください。また、本機には転倒防止の処置を行ってください。転倒防止を行わないと、落ちたり、倒れたりして怪我の原因となります。開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。



注意

電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷きになったりしないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うと、気づかずに重いものを載せてしまうことがあります。重いものを載せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。



禁止

設置	<p>付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用用品です。他の電気製品では御使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないで下さい。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。</p>	 禁止
使用環境	<p>本機の内部に水が入ったり、濡らさないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。</p>	 禁止
	<p>表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。</p>	 100V 以外禁止
使用方法	<p>本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。</p>	 禁止
	<p>本機の上に花瓶、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないで下さい。こぼれたり、落下して中に入った場合、火災、感電の原因となります。</p>	 禁止
	<p>本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>	 禁止
	<p>雷が鳴り出したらすぐに使用を中止して、電源プラグや接続されているコード類には触れないで下さい。感電の原因となります。</p>	 接触禁止
	<p>本機のキャビネットをはずしたり、改造したりしないで下さい。内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。内部の点検・調整、修理は、販売店にご依頼ください。</p>	 分解禁止
	<p>電源プラグの刃及び刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。</p>	 ほこり除去
	<p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。</p>	 禁止
	<p>本機の前面パネルに、たたくなどの衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。前面パネルには絶対に衝撃を与えないで下さい。</p>	 禁止


注意

設置	濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。	 禁止
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。	
	本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。	
	放熱をよくするため、他の機器や壁などから50mm以上の間隔を取って設置してください。また、次のような使い方をしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 ● 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。 ● じゅうたんやふとんの上に置く。 ● テーブルクロスなどをかける。 ● 横倒しにする。 ● 逆さまにする。	 禁止
	電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となります。	
	本機を直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。前面パネルの光学特性が変化し、変色したり、その原因となります。	 禁止
	移動させる場合は本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部コード、転倒防止具をはずしたことを確認してください。コード類をはずさずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	 プラグを抜く
	本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど高音、多湿になる場所あるいは油煙やホコリの多い場所には置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。	 禁止
	本機は質量が 29kg 以上あり、奥行きがなくて不安定なため、開梱や持ち運び、及び設置は2人以上で行ってください。	 注意
	お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。	 プラグを抜く
	本機はガラス部品を使用しています。万一部品が割れた場合には、破片でけがなどをしないよう取り扱いに注意し、販売店に修理をご依頼ください。	 注意
	窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン、ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。	 禁止
	1年に1回程度、内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。	
本機背面にある通気孔は、月に1回を目安に掃除機でホコリを吸い取ってください(このとき掃除機は「弱」に設定してください)。また、通気孔のお手入れは必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ホコリをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。	 注意	

設置	地震などによる転倒を防止するため、丈夫なヒモとフック金具を使用して、壁や柱など強度の高いところに固定してください。	 注意
	電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したりホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。	 確実に差す
	電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。	 禁止
	オーディオ機器やビデオ機器など、他の機器と組み合わせて使用する場合は、本機の電源を切った後、電源プラグをコンセントから抜いて接続してください。	 プラグを抜く
使用環境	本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。	 注意
	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	 プラグを抜く
使用方法	同じ絵柄やパソコンの静止画像、画面サイズノーマルや、上下や左右に黒帯が表示される映像を長時間連続で表示しないでください。画像が焼き付き残像として残る場合があります。	 禁止
	スピーカーを本機に接続し、ご使用になる場合は、長時間、音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。	 禁止
	本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。	 禁止
	指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。	 注意
	付属の電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となります。	 禁止
	電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。	 電池を取り出す
	長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについて液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。	

画素欠けについて

- プラズマディスプレイは、微細な画素の集合体で、非常に精密な技術で作られています。ごく一部の画素が光らなかったり、常時点灯する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

パネルの焼き付きと残像

- 静止画像など同じ絵柄の映像を長い時間表示すると、画面が焼き付き恐れがあります。焼き付きには次の2つの原因があります。

1. 電気負荷の残留による残像

輝度の非常に高い映像を1分以上表示すると、電気負荷の残留により残像が現れることがあります。これは動画を表示するとやがて消えます。残像が消えるまでにかかる時間は、もとの映像の輝度と表示時間によって異なります。

2. 焼き付きによる残像

プラズマディスプレイに同じ絵柄を長時間表示しないでください。同じ絵柄を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返したりすると、蛍光素材の焼き付きにより残像が現れることがあります。この場合は、動画の映像によって目立たなくなることがありますが、完全に消えることはありません。また、画面サイズ4:3や DOT BY DOTなどを何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示すると同様の焼き付きによる残像ができることがあります。

著作権者の権利を侵害するおそれがある場合を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映す画面サイズに切り換えてお楽しみいただくことをおすすめします。

- 「省電力の設定」(18 ページ)、「オービターの設定」(19 ページ)、「サイドマスク位置移動の設定」(19 ページ)や「サイドマスクの明るさの設定」(19 ページ)により、焼き付きの発生を軽減することができます。

4:3モードでのご注意

- 4:3モードの表示と非表示部(映像のない部分)は、互いに明るさの差が激しいため、濃淡の強い焼き付きを起こす原因となります。よって、なるべく次のように調整することをお奨めします。

1. 映像の表示部と非表示部の明るさの差が縮まるようにサイドマスクを調整する。☞19

2. 映像のコントラストと明るさを弱める。☞13

ただし、調整しても焼き付きを起こす時間が若干のびるだけで、焼き付きを抑えることはできません。できる限りフルモードでご使用ください。

赤外線について

- プラズマディスプレイは原理上赤外線を出しています。使用状態によっては周囲の機器のリモコンが効きにくくなったり、赤外線を使用しているワイヤレスヘッドホンにノイズが入る場合があります。その場合は影響を受けないような場所に機器の受光部を設置してください。

電磁波妨害について

- 本機は公的規格を満足していますが若干のノイズが出ています。「AMラジオ」や「パソコン」、「ビデオ」等の機器を近づけると妨害を与えることがあります。このときはそれらの機器をノイズの影響のない場所まで本機から離してください。

お手入れのしかた

お手入れの前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

キャビネットのよごれは・・・

- 毛羽立ちの少ない柔らかい乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふいたりしますと、変質したり、塗料がはげることがあります。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- キャビネットを、爪や硬いもので引っかいたり当てたりすると傷の原因となります。
- 通風孔の周りにほこり等がたまると、内部に入る可能性がありますので、通風孔のまわりは日常からきれいにしておいてください。通風孔のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用してください。なお、アダプタをつけずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。傷の原因となります。

パネルの汚れは・・・

- パネル表面は付属の布(ワイピングクロス)、または柔らかい乾いた布でふいてください。パネル表面は傷が付きやすいので、硬いものでこすったりたいたりしないでください。
- シンナーなどの溶材は使用しないでください。

静電気について

- お手入れされるときに、パネル表面に手を触れると弱い電気を感じることがありますが、人体には影響ありません。

目次

取り付け	2
囲まれた場所に取付／設置する際の換気について	2
電源コードの接続	2
信号ケーブルの接続	3
ケーブルの束線	3
リモコンの使用方法	4
電池を入れる	4
リモコンの動作範囲	4
リモコンの取り扱い	4
部品名と機能	5
前面図	5
後面図／端子ボード	6
リモコン	7
基本操作	8
電源を ON/OFF する	8
入力を切換える	8
音量を調整する	8
一時的に音を消す	8
現在の状態を確認する	8
画面を部分的に拡大する(POINT ZOOM)	8
パソコン画面の位置やクロック周波数、クロック位相を自動調整する	8
画面を静止画にする	8
SCREEN SIZE(画面サイズ)操作	9
ビデオや DVD の観賞時	9
パソコン信号の SCREEN SIZE(画面サイズ)操作	10
メニュー操作のしかた	11
メニュー操作	11
メニュー言語の設定	11
メニューツリー	12
映像設定メニュー	13
映像の調整	13
AV セレクション	13
色温度の設定	14
ホワイトバランスの調整	14
ガンマの設定	14
音声の調整メニュー	15
高音、低音、左/右バランスを調整します	15
画面の調整メニュー	15
位置、サイズ、位相、クロックを調整します	15
オプション 1 メニュー	16
オートパワーの設定	16
自動入力切替モードの設定	16
オートセットアップモードの設定	16
信号フォーマットの設定	16
色差選択の設定	16
カラーシステムの設定	17
DNR(デジタルノイズリダクション)の設定	17
ビデオ入力選択	17
ID ナンバーの設定	18
キーロック	18
オプション 2 メニュー	18
OSD 表示用言語の選択	18
省電力の設定	18
オービターの設定	19
サイドマスク位置移動の設定	19
サイドマスクの明るさの設定	19
ソフトフォーカスの設定	19
スクリーンマスクの設定	20
ピュアシネマの設定	20
初期設定に戻す	20
ピン配置	21
Mini D-Sub 15 ピンコネクタ(アナログ)	21
信号フォーマットの設定一覧	21
サポートする入力信号	22
故障かな?と思ったら	24
製品仕様	26
保証とアフターサービスについて	27

パッケージ内容

- プラズマディスプレイ
- 電源コード
- リモコン及び単4形乾電池2個
- 取扱説明書
- 保証書
- ケーブルクランパ(2本)
- ワイピングクロス(パネル用)
- AC変換プラグ
- フェライトコア(2個)
- 束線バンド(フェライトコア用)(2本)

オプション品

- スピーカー (PDP-42FX10 : PDP-S42-LR, PDP-50FX10 : PDP-S43-LR)
- テーブルトップスタンド(PDK-TS19)
- 壁掛け金具(PDK-WM04)
- 壁掛け傾斜金具(PDK-WT01)
- 天吊金具(PDK-CK01)
- キャリアブルスタンド(PDP-42FX10 : PDK-MC02, PDP-50FX10 : PDK-MC03)



注意



当社指定のオプション品を使用

取り付けオプション品やネジ等は、当社指定のものを使用してください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

取り付け

別売りのユニットやスタンドでディスプレイを取付／設置する方法が2通りあります。

- * ディスプレイを垂直に取付／設置する場合(図A)
- * 画面を下向きにして取付／設置する場合(図B)。購入時にディスプレイを梱包していた保護シートをしたに敷き、画面表面に傷が付かないようにします。
- * ディスプレイを持ち運ぶ際は、スクリーン面に触れないようにしてください。
- * 梱包箱から製品を取り出す際には、POWERスイッチに負荷がかからないようご注意ください。

- この装置は本体だけの取付／設置は行えません。必ず当社指定のスタンドもしくは壁掛け金具を使用して取付／設置してください。
- 装置を正しく取付／設置を行うには当社指定販売店、サービスマンにお問い合わせください。正しくない取付／設置を行うと、装置の故障やけがの原因になります。また正しくない取付／設置により生じた故障は保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
- 壁掛け金具やスタンドはオプションに表示されている製品のみをご利用ください。

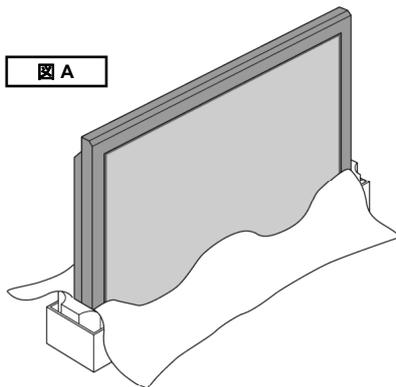


図 A

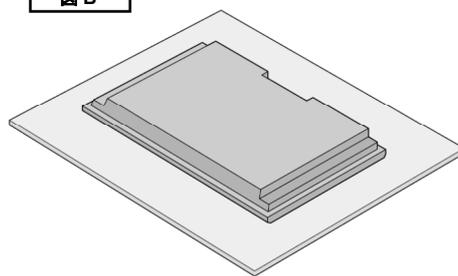


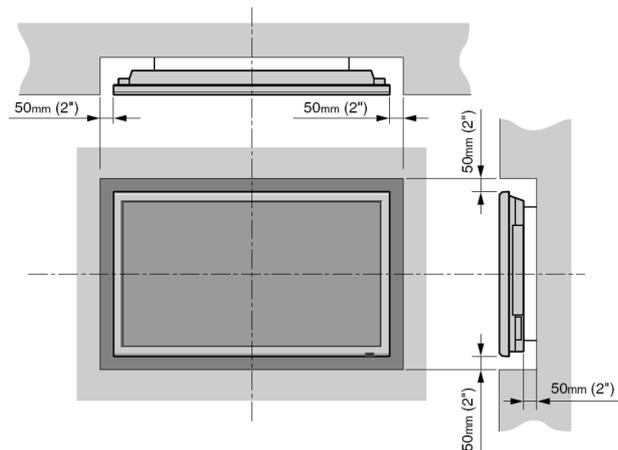
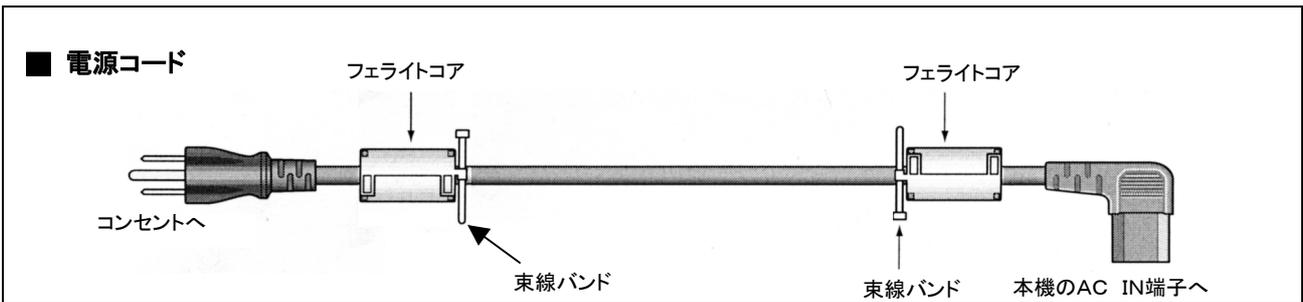
図 B

囲まれた場所に取り付／設置する際の換気について

以下の図のような環境にディスプレイの取付／設置を行う場合は、壁面とディスプレイの間に、熱を分散させるためのスペースを確保してください。

電源コードの接続

- コンセントは、電源プラグが抜きやすい位置にあることをお確かめください。
- 電源プラグは、確実に差し込んでください。不完全な接続は、ノイズの原因となります。
- 電源コードにフェライトコア(付属品)を取り付け、束線バンド(付属品)で固定してください。(下図参照)

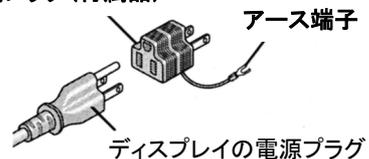


⚠注意

AC変換プラグご使用の注意

電源プラグは、アース付き3芯プラグです。機器のアースは確実に取ってご使用ください。なお、コンセントが2芯専用の場合は、アース工事を専門業者にご依頼ください。

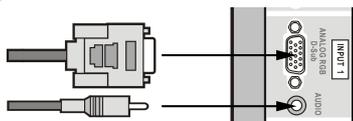
AC変換プラグ(付属品)



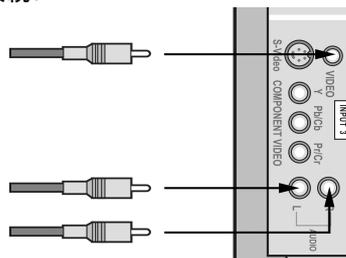
信号ケーブルの接続

以下に示すように信号ケーブルを接続してください。

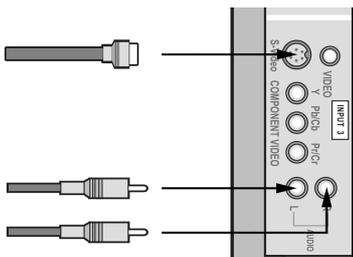
パソコン接続:



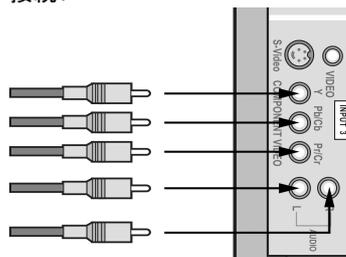
コンポジット接続:



Sビデオ接続:

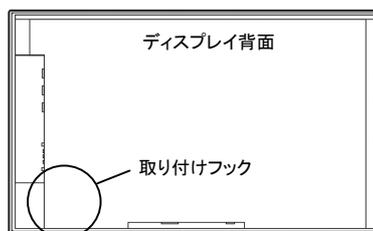


コンポーネント接続:

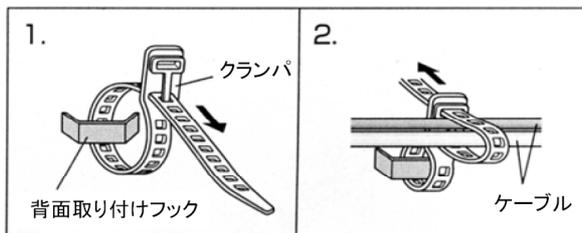


ケーブルの束線

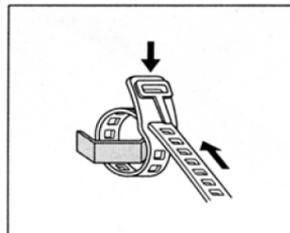
ディスプレイに接続している映像信号、音声信号のケーブルをケーブルクランパを使ってディスプレイ背面に束線してください。



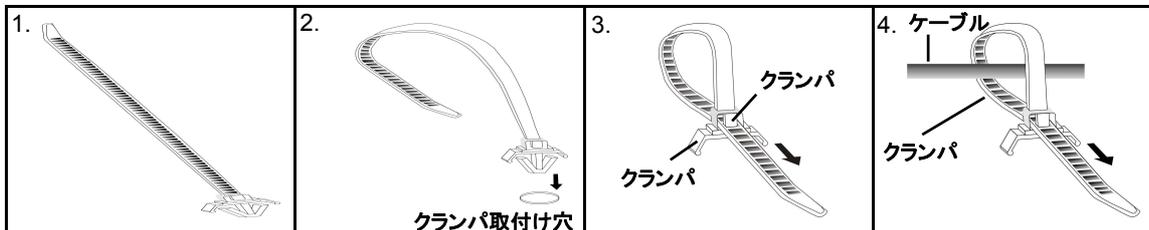
取り付け方
PDP-42FX10



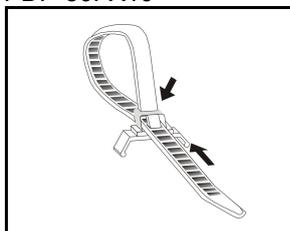
取り外し方
PDP-42FX10



取り付け方
PDP-50FX10



取り外し方
PDP-50FX10

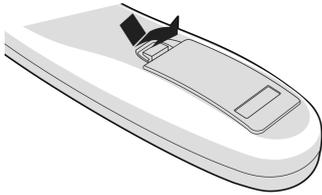


リモコンの使用方法

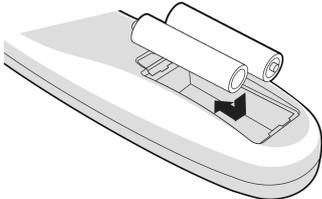
電池を入れる

正しい極性を確認しながら、単4形乾電池2本を挿入してください。

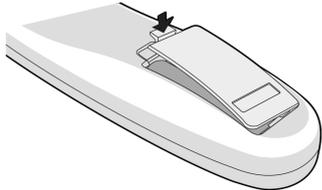
1. 押してカバーを開きます。



2. ケース内の(+)と(-)表示に従って電池を配置します。



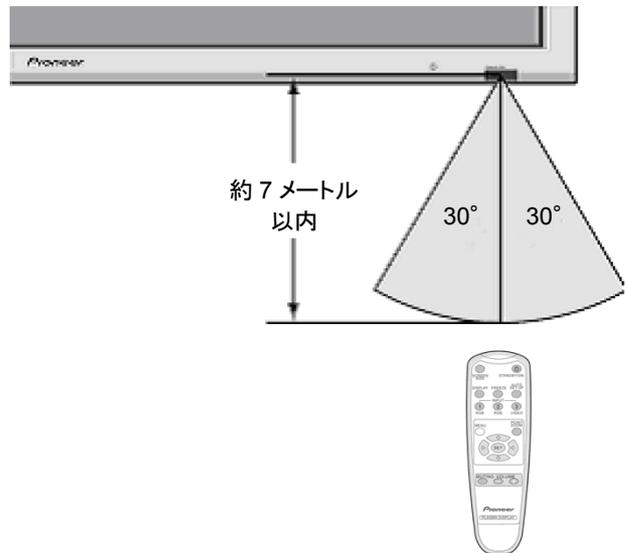
3. カバーを元に戻します。



リモコンの動作範囲

* 本体のリモコン受光部から約 7メートル以内の距離、上下／左右とも30°以内でリモコンを使用してください。

* 本体のリモコン受光部が直射日光や明るい光が当たったり、障害物があったりすると、操作できないことがあります。



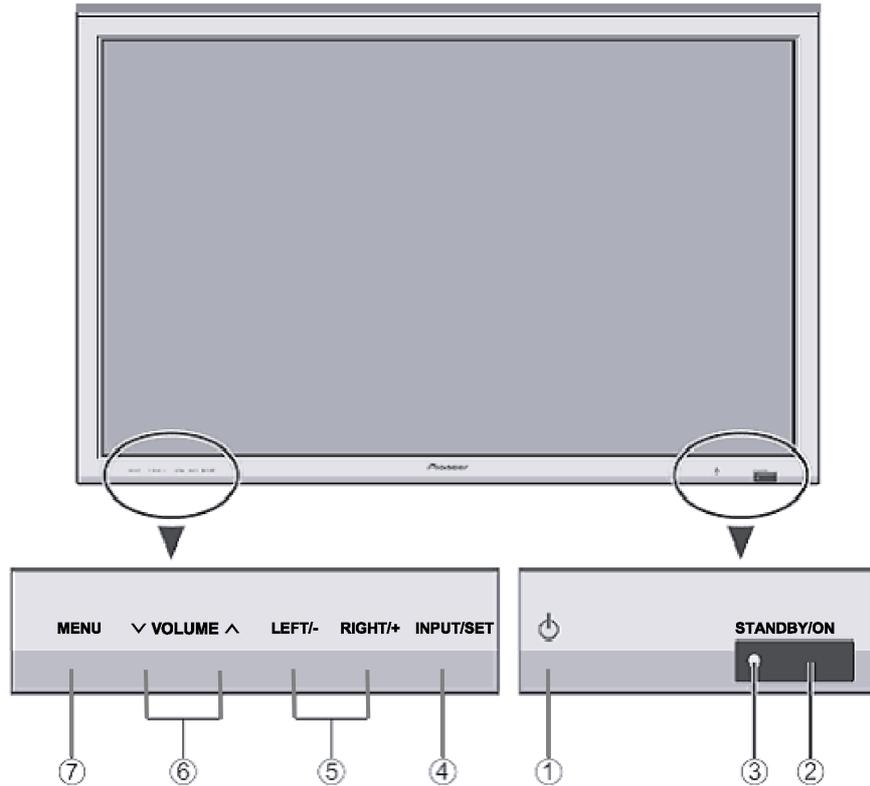
⚠ 注意

リモコンの取り扱い

- リモコンを落としたり、乱暴に扱ったりしないでください。
- リモコンを濡らさないでください。リモコンが濡れた場合、すぐに乾いた布等で拭ってください。
- 熱や湿気を避けてください。
- 長期間(1か月以上)リモコンを使用しない場合、電池を取り外してください。
- 電池は誤った使い方をすると液もれや破裂することがありますので次のことをお守りください。
 - 種類の違うものや新旧を混ぜては使わない。
 - 電池を充電したり、分解しない。
 - +極と-極を正しく入れる。
 - ショートさせない。
- 不要となった電池を廃棄する場合、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

部品名と機能

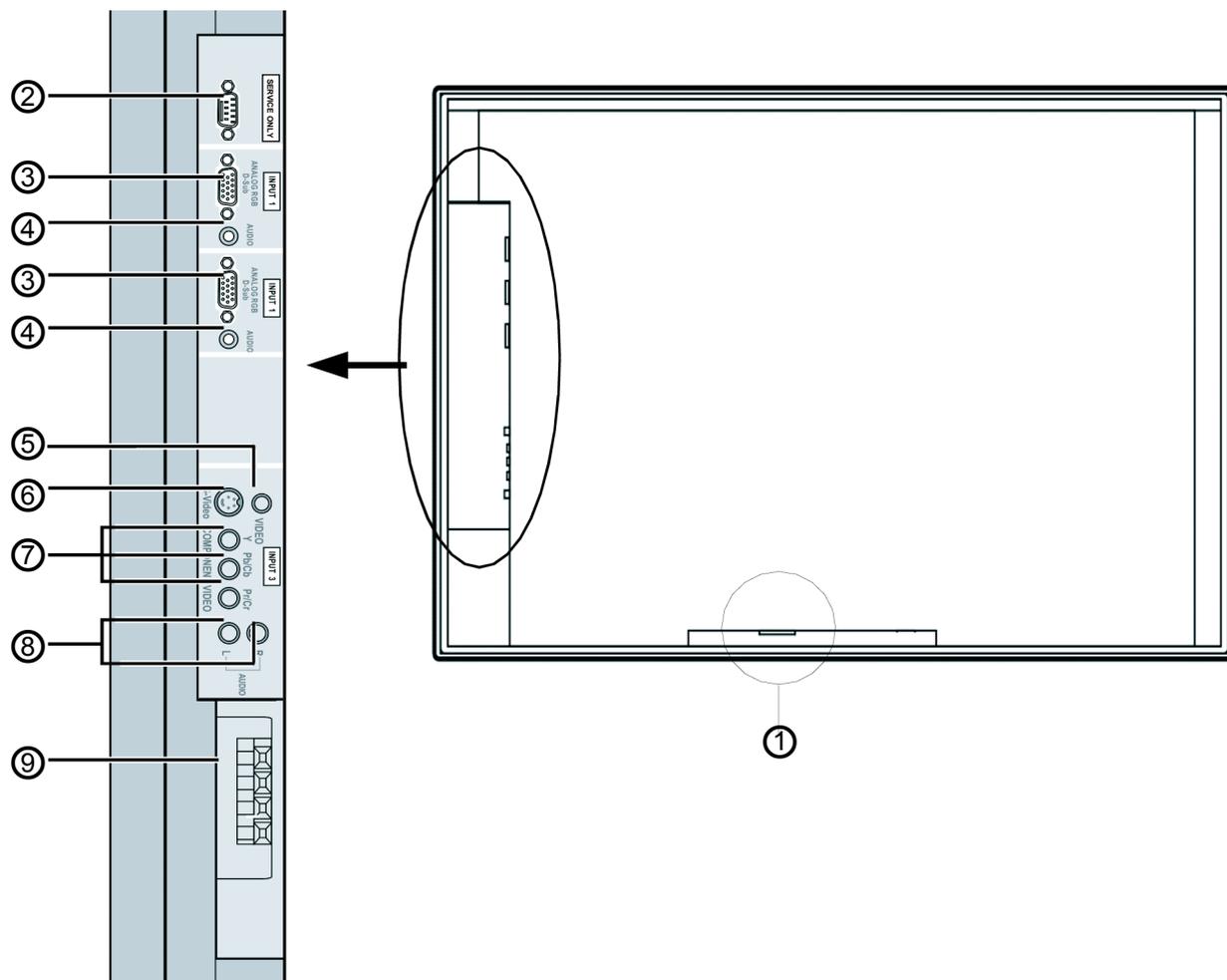
前面図



- ① **POWER (⏻)**
本体の主電源の入/切をします。
- ② **リモコン受光部**
リモコンからの信号を受信します。
- ③ **STANDBY/ONインジケータ**
本機が動作状態のとき緑色で点灯し、スタンバイ状態のとき赤色で点灯します。
また、点滅によって本機の異状をお知らせすることもあります。
- ④ **INPUT/SETボタン**
メニュー画面表示中以外のとき、入力を以下の順番で切り替えます。
▶ 入力1→入力2→入力3 ◀
- ⑤ **LEFT/-とRIGHT/+ボタン**
OSD (オンスクリーンディスプレイ)でカーソル(← / →)ボタンとして機能。
- ⑥ **VOLUME (∨ / ∧)ボタン**
音量の調節。OSD(オンスクリーンディスプレイ)でカーソル(↓ / ↑) ボタンとして機能。
- ⑦ **MENUボタン**
メニュー画面の表示/消去をします。

お知らせ
POWERスイッチのオン/オフはコンセントからの電源を完全に遮断するものではありません。

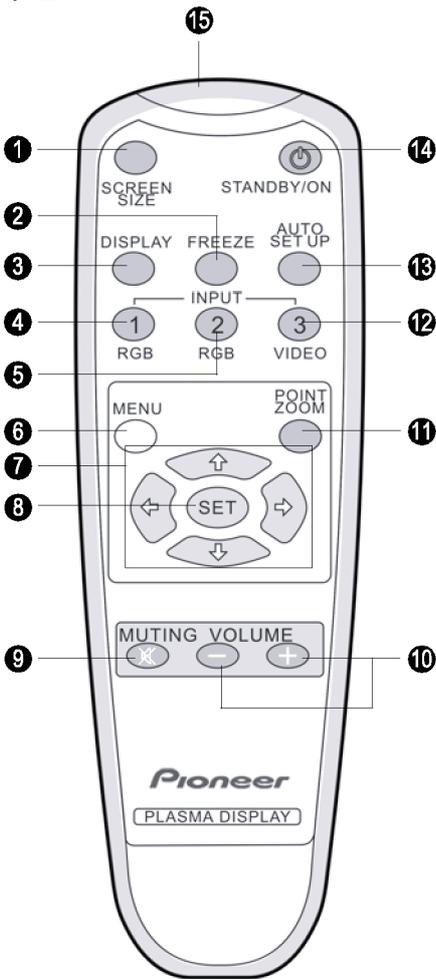
後部図／端子ボード



- ① **AC IN(AC入力)**
付属の電源コードを接続します。
- ② **SERVICE ONLY**
この端子には何も接続しないで下さい。
工場調整用の端子です。
- ③ **ANALOG RGB(アナログRGB、Mini D-Sub 15pin)**
パソコンなどからのアナログRGB信号をここに接続します。
- ④ **AUDIO(オーディオ)**
INPUT1またはINPUT2の音声入力端子です。
- ⑤ **COMPOSITE(コンポジット)**
VCR、DVD、ビデオカメラなどをここに接続します。
- ⑥ **S-Video(シビデオ)**
VCR、DVD、ビデオカメラなどをここに接続します。
- ⑦ **COMPONENT VIDEO(コンポーネントビデオ)**
DVDなどをここに接続します。
- ⑧ **AUDIO(オーディオ)**
INPUT3の音声入力端子です。
- ⑨ **EXT SPEAKER L and R(左右外部スピーカー)**
スピーカー(オプション)をここに接続します。極性に注意してください。LEFT(左)及びRIGHT(右)チャンネル双方の+極スピーカー線をEXT SPEAKER +端子に、-極スピーカー線をEXT SPEAKER -端子に接続します。スピーカーの取扱説明書を参照ください。

部品名と機能

リモコン



- ① **SCREEN SIZEボタン**
画面サイズを切換えます。(9ページ)
- ② **FREEZEボタン**
画面を静止画にします。(8ページ)
- ③ **DISPLAYボタン**
現在の状態を表示します。
- ④ **INPUT1- RGBボタン**
入力をアナログRGB入力1に切換えます。
- ⑤ **INPUT2- RGBボタン**
入力をアナログRGB入力2に切換えます。
- ⑥ **MENUボタン**
メニュー画面の表示／非表示をします。
- ⑦ **CURSORボタン**
メニュー画面表示内でカーソルを動かしたり、各項目の調整を行います。
- ⑧ **SETボタン**
メニュー画面で調整項目の決定、各種設定の変更を行います。
- ⑨ **MUTINGボタン**
音声を一時的に消します。(8ページ)
- ⑩ **VOLUME (+/-)ボタン**
音声を調節します。(8ページ)

- ⑪ **POINT ZOOM ボタン**
画面の一部を拡大します。(8ページ)
- ⑫ **INPUT3 - VIDEO ボタン**
コンポーネント、コンポジットまたはSビデオの入力に切換えます。
- ⑬ **AUTO SET UP ボタン**
パソコン信号入力時、画面位置、クロック周波数、クロック位相を自動的に調整します。(8ページ)
- ⑭ **STANDBY/ON ボタン**
電源の入／切(スタンバイ)をします。(8ページ)
- ⑮ **リモコン発光部**
リモコン信号を発光します。

基本操作

電源をON/OFFする

1. 電源コードをAC電源コンセントに接続します。
2. POWERスイッチを押します。
本体のSTANDBY/ONインジケータが点灯(緑色)し、本体の電源が入ります。
3. STANDBY/ONボタン(リモコン)やPOWERスイッチ(本体)を押して、本体の電源を切ります。本体のSTANDBY/ONインジケータが赤色になり、スタンバイモードが設定されます(リモコンで本体をオフにした場合のみ)。

入力を切換える

信号を入力すると自動的にその入力に切替わります。
(16ページの「自動入力切替モードの設定」を参照)
また、手動で切換えるようにすることもできます。

音量を調整する

1. VOLUME ⊕ ボタン(リモコンまたは本体)を押すと、音が大きくなります。
2. VOLUME ⊖ ボタン(リモコンまたは本体)を押すと、音が小さくなります。

一時的に音を消す

リモコンのMUTINGボタンを押して消音します。もう一度押すと復帰します。

現在の状態を確認する

リモコンのDISPLAYボタンを押して下さい。
画面サイズ、入力モード、音量が表示されます。
画面表示は3秒後に消えます。

画面を部分的に拡大する(POINT ZOOM)

デジタルズームにより画像の拡大を指定します。
リモコンのPOINT ZOOMボタンを押して、1.0、1.5、2.0、2.5倍ズームを選択します。
リモコンのカーソルボタンにより位置を移動できます。

パソコン画面位置やクロック周波数、クロック位相を自動調整する

電源を入れたとき、入力を切替えたとき、入力している信号の種類が切替わったときに自動的に映像に合った調整を行います。(16ページの「オードセットアップモードの設定」を参照)

お知らせ

信号によっては、切替わりが検知できず、自動的に調整できない場合があります。そのような場合は、リモコンのAUTO SET UPボタンを押して調整してください。

画面を静止画にする

リモコンのFREEZEボタンを押すと画面が静止します。もう一度押すと解除されます。

SCREEN SIZE(画面サイズ)操作

この機能により、6つの画面サイズから選択できます。

ビデオやDVDの観賞時

1. リモコンのSCREEN SIZE(画面サイズ)ボタンを押します。
2. SCREEN SIZEボタンを再び押します。

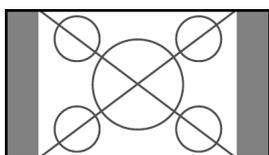
画面サイズは以下のように切り替わります：

▶ フル → ワイド → ズーム → 2.35:1 → 4:3

16:9 フォーマットの映像が入力された場合

▶ フル → 2.35:1

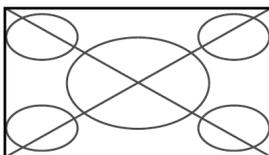
4:3サイズ画面



標準サイズ画面が表示されます。

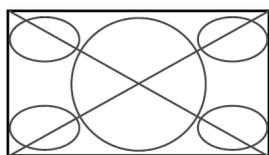
* 画像は 4:3 アスペクト比のビデオ画像と同じサイズです。

フルサイズ画面



入力信号を左右方向に拡大して 16:9 の画面いっぱい再生します。

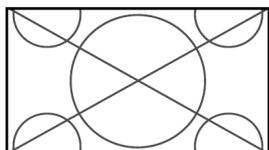
ワイドサイズ画面



画像は水平及び垂直方向に異なる比率で引き伸ばされます。

* 通常ビデオプログラム(4:3)をワイド画面で見ると使用します。

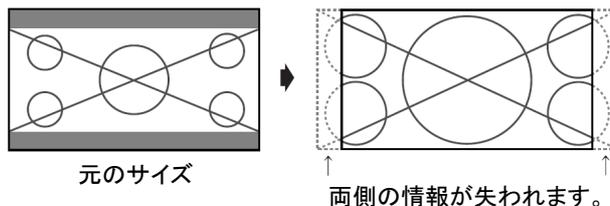
ズームサイズ画面



画像は元の比率を保ちながら水平及び垂直方向に引き伸ばされます。

* シアターサイズ(ワイド)映像などに使用します。

2.35:1サイズ画面



圧縮されたフィルムイメージは 2.35:1 の比率で全画面を満たすように引き伸ばされます。黒帯は上部と下部に現れませんが、右と左端の情報が失われます。

- この機能は入力信号がビデオ、コンポーネント(480I, 480P, 576I, 576P, 720P, 1080I)、RGB(スキャンコンバータからの 525P, 625P 信号)の場合に、利用可能です。
- * 全画面で上下に黒帯が現れた場合は、焼き付きを避けるために、2.35:1 サイズ画面を選択してください。

お願い:

1. 長い時間 4:3 モードでの表示は避けてください。焼き付きが起こる可能性があります。
2. 入力画像のビデオ入力源が 16:9 フォーマットの場合、表示モードはフル及び 2.35:1 の間でのみ切り換えられます。

著作権について

本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面サイズ切替機能(フル、ワイド、ズーム、2.35:1)などを利用した、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

パソコン信号のSCREEN SIZE(画面サイズ)操作

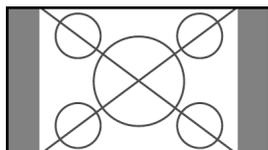
ワイド画面モードに切り替えて、4:3 イメージを全画面に拡大します。

1. リモコンのSCREEN SIZE(画面サイズ)ボタンを押します。
2. SCREEN SIZE(画面サイズ)ボタンを再び押します。
画面サイズは以下のように切り替わります：

▶ 4:3 → フル → ズーム → DOT BY DOT

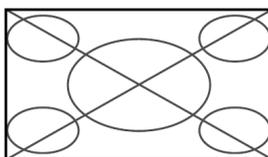
(入力信号が 4:3 以外の場合は“フル”のみになります)

4:3サイズ画面



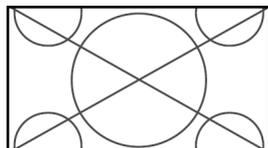
画面は標準のコンピュータ画像と同じサイズです。

フルサイズ画面



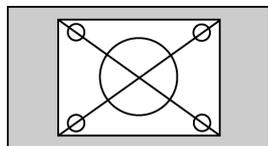
画像は垂直及び水平方向の比率に基づいて、全画面に拡大されます。

ズームサイズ画面



4:3 画像は水平方向に全画面に拡張されます。

DOT BY DOT (ドットバイドット)サイズ画面



入力信号とプラズマディスプレイの画素を 1:1 に対応させて忠実に再現します。

ただし、入力信号の解像度がパネルの解像度以下の場合にのみ有効です。

お知らせ

■ 対応解像度

本機が対応している各種VESA信号スタンダードの信号出力についての詳細は22ページを参照ください。

■ 852 (848)ドット x 480ライン幅のVGA*信号が60Hzの垂直周波数及び31.7 (31.0) kHzの水平周波数が入力された場合

16ページの「信号フォーマットの設定」、21ページの「信号フォーマットの設定一覧」を参照して、適切な信号フォーマットを選択します。

* “VGA”, “SVGA”, “SXGA”は米国の IBM, Inc の商標です。

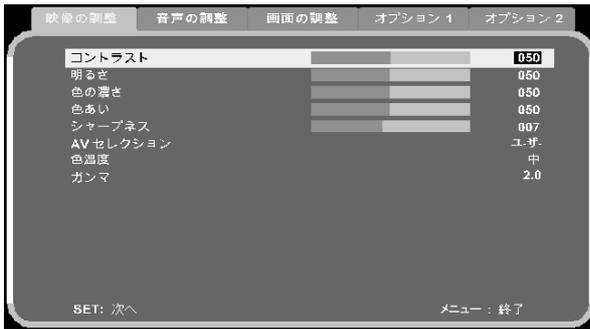
お願い:

長い時間 4:3 モードおよび DOT BY DOT モードでの表示は避けてください。焼き付きが起こる可能性があります。

メニュー操作のしかた

メニュー操作

メニューに入ると、「映像の調整」メニューが表示されます。



以下にメニューの使用と項目の選択方法を説明します。

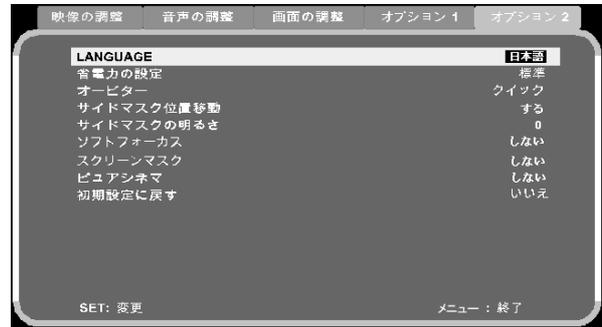
1. リモコンのMENUボタンを押して、メニューウィンドウを表示します。
2. リモコンのカーソルボタン← →、またはSETボタンを押して、表示したいメニューに切り替えます。
3. リモコンのカーソルボタン ↑ ↓を押して、サブメニューや項目を選択します。
4. サブメニューに入るためには、リモコンのSETボタンを押します。
5. リモコンのカーソルボタン← →もしくはSETボタンを押して、レベル調整や選択した項目の設定を変更します。SETボタンを押してメインメニューに戻ります。
6. 調整や設定はメモリに保存されます。変更内容は再び変更するまで保持されます。
7. 調整が完了したら、リモコンのMENUボタンを押します。

メニュー言語の設定

メニュー表示は以下言語から1つを設定できます。

例: メニュー表示を“DEUTSCH(ドイツ語)”に設定する

“オプション2”メニューで、“LANGUAGE”を選択し、SETボタンを押して、“DEUTSCH”を選択します。



MENU ボタンを押して、変更を保存します。

お知らせ

■ 言語設定

ENGLISH	英語	ESPAÑOL	スペイン語
FRANCAIS	フランス語	日本語	日本語
DEUTSCH	ドイツ語	中文(繁體)	繁体中国語
ITALIANO	イタリア語		

メニューツリー

■ : 影がかかった部分はデフォルト値です。
 < → : < または → ボタンを押して調節します。

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	ビデオ信号	パソコン信号	参照ページ
映像の調整	コントラスト*1	0 < 50 → 100	○	○	13
	明るさ*1	0 < 50 → 100	○	○	13
	色の濃さ*1、*2	0 < 50 → 100	○	—	13
	色あい*1、*2	0 < 50 → 100	○	—	13
	シャープネス*3	0 < 7 → 15	○	○	13
	AV セレクション	標準/ダイナミック/映画*2 /ユーザー	○	○	13
	色温度*1	低/中-低/中/高-中/高/ユーザー	○	○	14
	ホワイトバランス*4 ガンマ	R HIGH/G HIGH/B HIGH/R LOW/G LOW/B LOW/リセット 1.8 < 2.0 → 2.2	○ ○	○ ○	14 14
メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	ビデオ信号	パソコン信号	参照ページ
音声の調節	高音	-6 < +0 → +6	○	○	15
	低音	-6 < +0 → +6	○	○	15
	バランス	-16 < +0 → +16	○	○	15
メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	ビデオ信号	パソコン信号	参照ページ
画面の調整	水平位置	(設定値は信号により異なります)	○	○	15
	垂直位置	(設定値は信号により異なります)	○	○	15
	水平サイズ	0 < 10 → 100*7	○	○	15
	垂直サイズ	0 < 10 → 100*7	○	○	15
	クロック周波数*5	0 < 50 → 100	—	○	15
	クロック位相*5	(設定値は信号により異なります)	—	○	15
メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	ビデオ信号	パソコン信号	参照ページ
オプション 1	オートパワー	動作する/動作しない	○	○	16
	自動入力切替	動作する/動作しない	○	○	16
	オートセットアップモード*5	動作する/動作しない	—	○	16
	信号フォーマット設定*5	(設定値は信号により異なります)	—	○	16、21
	色差選択*2	コンポーネント 1/コンポーネント 2/RGB	○	—	16
	カラーシステム*2	自動/NTSC/PAL /PAL N/PAL M/SECAM/NTSC 4.43	○	—	17
	DNR*2	しない/低/中/高	○	—	17
	ビデオ入力選択	コンポーネント/Y/C/コンポジット	○	○	17
	ID ナンバー	—(無効)/ 00 ~FF	○	○	18
	キーロック	する/しない	○	○	18
メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	ビデオ信号	パソコン信号	参照ページ
オプション 2	LANGUAGE	ENGLISH/FRANCAIS/ESPAÑOL/DEUTSCH/ITALIANO/ 日本語/中文(繁體)	○	○	11
	省電力の設定	標準/モード 1/モード 2/モード 3	○	○	18
	オービター	しない/ノーマル/クイック	○	○	19
	サイドマスク位置移動	する/しない	○	○	19
	サイドマスクの明るさ	0/1/2/3/4	○	○	19
	ソフトフォーカス	しない/1/2/3/4	○	○	19
	スクリーンマスク	しない/反転/ホワイト	○	○	20
	ピュアシネマ*6	する/しない	○	—	20
	初期設定の戻す	はい/いいえ	○	○	20

*1 “AV セレクション”が“ユーザー”に設定された場合のみ利用可能

*2 INPUT3 のみ

*3 “ソフトフォーカス”が“オフ”に設定され、また“AV セレクション”が“ユーザー”に設定された場合のみ利用可能

*4 “色温度”と“AV セレクション”が“ユーザー”に設定された場合のみ利用可能

*5 RGB(INPUT 1 と INPUT 2)のみ

*6 インターレース信号のみ

*7 パソコン信号入力時のデフォルト値は“0”

お知らせ

■ 初期設定に戻す

“オプション 2”メニューで、“初期設定に戻す”を“はい”に設定します。

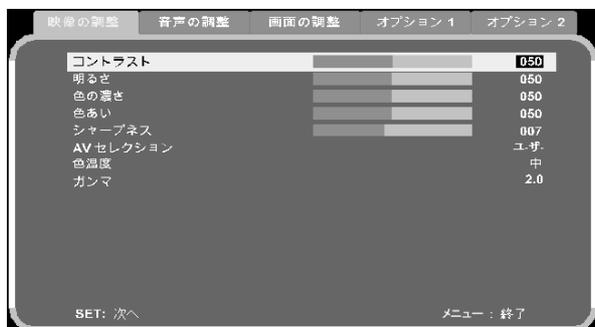
映像設定メニュー

映像の調整

コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あい、シャープネスを必要に応じて調節できます。

例:コントラストの調整

“映像の調整”メニューで、“コントラスト”を選択し、リモコンのSET ボタンを押します。



← または → ボタンを押して値を調節します。SET ボタンを押して変更を保存し、前画面に戻ります。

お願い:

コントラスト、明るさ、色あい、シャープネス、色温度を調整する場合は、あらかじめ AV セレクションを“ユーザー”に変更しておく必要があります。

お知らせ

■ 映像調整画面

- ・コントラスト: 映像の白レベルを変更します。
 - ・明るさ: 映像の黒レベルを変更します。
 - ・色の濃さ*: 色密度を変更します。
 - ・色あい*: 映像の色あいを変更します。自然な肌の色や背景などを調節します。
 - ・シャープネス**: 映像のシャープ度を変更します。
- * 色の濃さと色あい機能はINPUT3(入力3)信号のみ利用できます。
- **シャープネス機能は“ソフトフォーカス”が“しない”に設定された場合のみ利用できます。

■ パソコン画像の調整

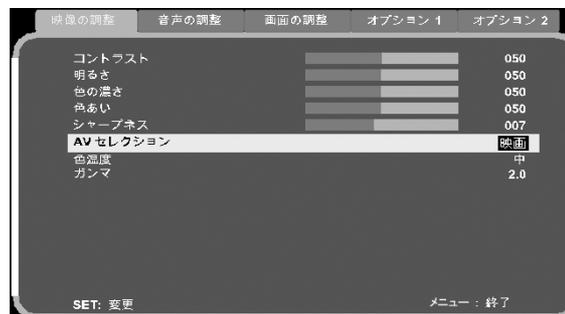
パソコン信号が接続された場合、コントラスト、明るさ、シャープネスのみ調節できます。

AVセレクション

部屋の明るさや映像ソフトに合わせて4つの画像モードを使用できます。

例:“映画”モードの設定

“映像の調整”メニューで、“AVセレクション”を選択し、“映画”を選択します。



お知らせ

■ 映像モードの種類

標準: 明るい部屋でビデオを見る場合はこのモードを選択します。このモードは明部と暗部がはっきりした映像になります。

ダイナミック: 標準より明るい映像になります。

映画*: 暗い部屋でビデオを見る場合にこのモードを設定します。このモードは映画館のように、暗めで精密な映像になります。

ユーザー: この項目を使用して映像の明るさ、コントラスト、シャープネス、色温度のカスタマイズを行います。

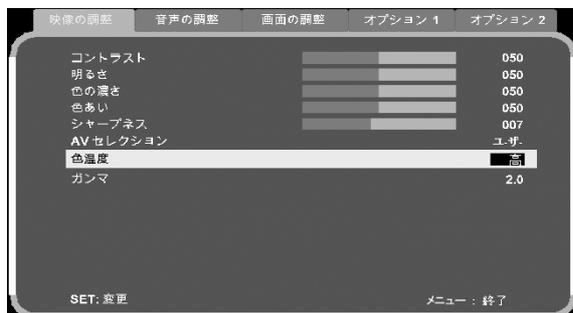
* 映画モードはINPUT3(入力3)信号でのみ利用できます。

色温度の設定

プラズマディスプレイの色温度を設定します。

例: 色温度を“高”に設定する

“映像の調整”メニューで、“色温度”を選択し、“高”を選択します。



お知らせ

■ 色温度の設定

低 : 赤っぽく表示します

中-低

中

高-中

高 : 青っぽく表示します

ユーザー : この項目を使用して色温度のカスタマイズを行います。

■ パソコン画像の調整

“色温度”の機能は“AVセレクション”が“ユーザー”に設定された場合のみ利用可能

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスを調節します。

例: “R HIGH”を調節します

“映像の調整”メニューで、“色温度”を選択し、“ユーザー”を選択します。“ホワイトバランス”を選択し、SET ボタンを押します。

“R HIGH”を選択し、SET ボタンを押します。← または → ボタンを押して値を調節します。SET ボタンを押して変更を保存し、前画面に戻ります。



お知らせ

■ ホワイトバランスの調節

R/G/B HIGH: 白レベルのホワイトバランスの調節をします。

R/G/B LOW: 黒レベルのホワイトバランスの調節をします。

リセット: 設定を初期設定値に戻します。

■ 初期設定値に戻す

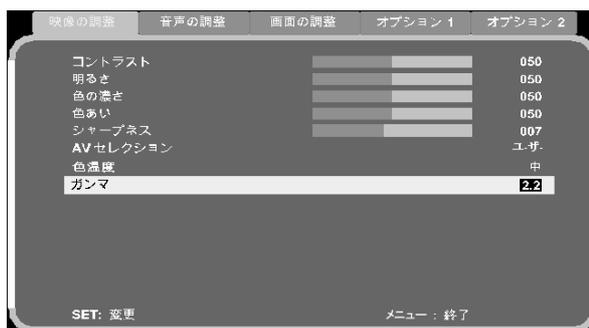
“ホワイトバランス”メニューで“リセット”を選択します。

ガンマの設定

中間調の明るさを調節します。

例: ガンマを“2.2”に設定する。

SETボタンを押して、“映像の調整”メニューで“ガンマ”を選択し、“2.2”を選択します。



お知らせ

■ ガンマの設定

1.8: 中間調を明るくします。

2.0: 中間調を初期状態にします。

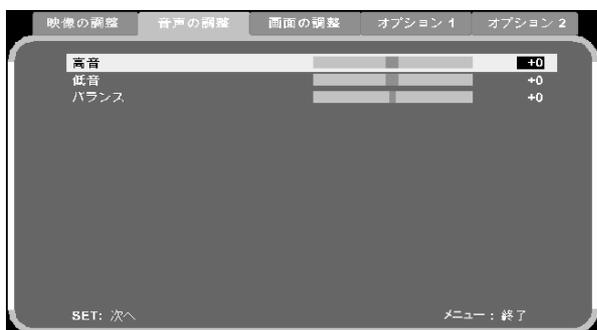
2.2: 中間調を暗くします。

音声の調整メニュー

高音、低音、左/右バランスを調整します

例: 高音の調節

“音声の調整”メニューで“高音”を選択し、リモコンのSETボタンを押します。



← または →ボタンを押して値を調節します。SET ボタンを押して変更を保存し、前画面に戻ります。

お知らせ

■ 音声設定メニュー

高音: 高音のレベルを調節します。

低音: 低音のレベルを調節します。

バランス: 左と右チャンネルのバランスを調節します。

画面の調整メニュー

位置、サイズ、位相、クロックを調整します

画像位置の調整と画像のちらつきを調整します。

例: 画像の水平位置を調節する

“画面の調整”メニューで“水平位置”を選択し、リモコンのSETボタンを押します。



← または →ボタンを押して、値を調節します。SET ボタンを押して変更を保存し、前画面に戻ります。

お知らせ

■ 画面設定メニュー

水平位置: 画像の水平位置を調節します。

垂直位置: 画像の垂直位置を調節します

水平サイズ: 画像の水平サイズを調節します。(ワイドモード以外)

垂直サイズ: 画像の垂直サイズを調節します。(ワイドモード以外)

クロック位相: 文字のちらつきや色ずれがあるときに調節します。

クロック周波数: 文字のつぶれやノイズがあるときに調節します。

お願い:

クロック位相とクロック周波数調整は、RGB 入力 (INPUT1, INPUT2)のみ利用可能です。

オプション1メニュー

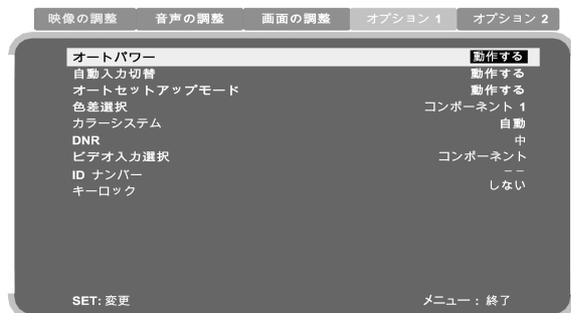
オートパワーの設定

信号が入力されると電源が入り、信号が一定時間なくなると自動的に電源が切れます。

例：“動作しない”の設定

“オプション1”メニューで、“オートパワー”を選択します。

リモコンで SET ボタンを押して“動作しない”を選択します。SET ボタンを押して変更を保存し、前画面に戻ります。



お知らせ

■ オートパワーの設定

動作する：すべての入力信号で電源が ON/OFF します。
動作しない：どの入力信号でもシステムは動作しません。

お願い：

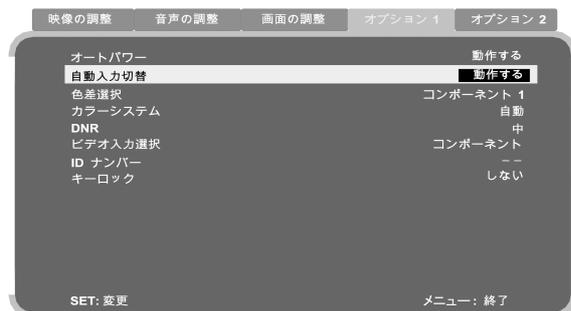
オートパワーを動作するに設定している場合でも、リモコンで電源を OFF にすると一時的にオートパワーが解除されます。その状態で電源を ON するには、再度リモコンで電源を ON する必要があります。

自動入力切替モードの設定

自動入力切替機能の有効または無効を選択します。設定された入力に信号が入力されると自動的にその入力に切替えます。

例：“動作しない”の設定

“オプション 1”メニューで、“自動入力切替”を選択します。リモコンの SET ボタンを押して、“動作しない”を選択します。SET ボタンを押して変更を保存し、前画面に戻ります。



お知らせ

■ 自動入力切替の設定

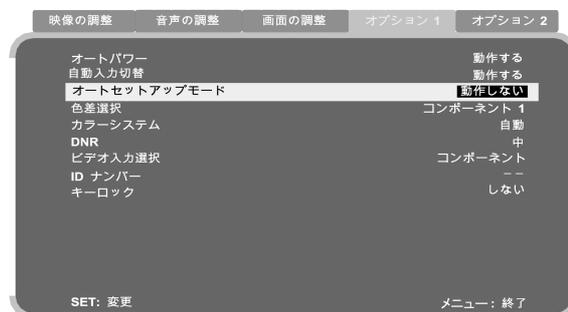
自動信号検出の順番はINPUT1(入力1) -> INPUT2(入力2) -> INPUT3(入力3)です。

オートセットアップモードの設定

オートセットアップ機能の有効または無効を設定します。

例：“動作しない”を設定します

“オプション1”メニューで、“オートセットアップモード”を選択します。リモコンでSETボタンを押して“動作しない”を選択します。SETボタンを押して変更を保存し、前の画面に戻ります。



お知らせ

■ オートセットアップモードの設定

“動作する”に設定した場合、入力信号に適した水平及び垂直位置、クロック位相、クロック周波数を調整します。これは入力がINPUT1, INPUT2の場合に有効です。

お願い：

輝度信号が低い信号など、入力されている信号によってはうまく調整できない場合があります。そのような場合は、オートセットアップモードを「動作しない」に設定し、画面の位置やクロック周波数、クロック位相を手動で調整してください。

信号フォーマットの設定

パソコン信号入力時の信号フォーマットを設定します。

本機では、入力された信号フォーマットを自動判別して表示していますが、正しく表示されない場合は信号フォーマットを手動で選択します。

“オプション1”メニューで、“信号フォーマット設定”を選択します。リモコンでSETボタンを押し、正しい信号フォーマットを選択します。

選択できる信号フォーマットは、入力信号により異なります。(信号フォーマットの設定一覧 [P.21](#))

色差選択の設定

コンポーネントか RGB かを切替えます。

例：“コンポーネント2”の設定

“オプション1”メニューで、“色差選択”を選択します。リモコンでSETボタンを押し、“コンポーネント2”を選択します。



お知らせ**■ 色差選択の設定**

コンポーネント1：ハイビジョン機器、デジタルチューナーなどのYPbPr信号の入力時に設定します。

コンポーネント2：DVDプレーヤーなどのYCbCr信号の入力時に設定します。

RGB*：RGB信号の入力時に設定します。

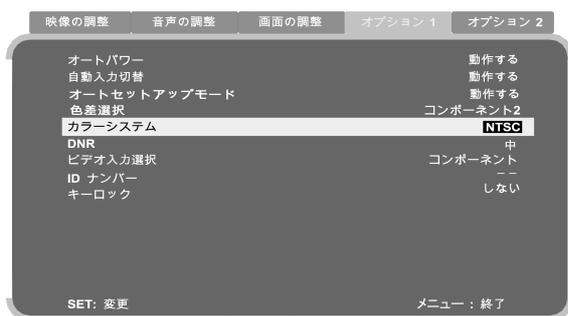
* INPUT3のコンポーネント入力端子のみに働きます。

カラーシステムの設定

カラーシステムを設定します。

例：カラーシステムを“NTSC”に設定します

“オプション1”メニューで、“カラーシステム”を選択します。リモコンのSETボタンを押して“NTSC”を選択します。

**お知らせ****■ ビデオ信号フォーマット**

これはINPUT3(入力3)のコンポジット入力とY/C入力時のみに有効です。

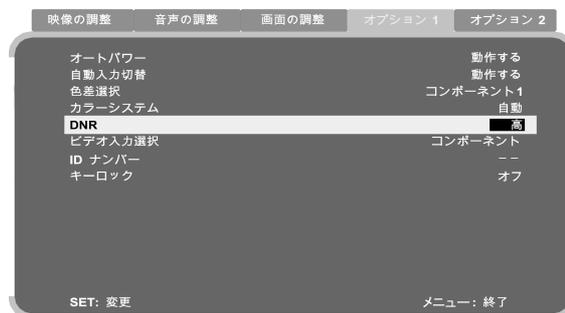
- ・ 自動：カラーシステムは自動的に判定され、それに応じてフォーマットが設定されます。
- ・ NTSC：主にアメリカと日本で採用される標準フォーマットです。
- ・ 4.43 NTSC：PAL及びSECAMビデオ信号を使用している国々のビデオに使われます。
- ・ PAL：これは主にイギリスやドイツで使用される標準フォーマットです。
- ・ PAL N：これは主にアルゼンチンで使用される標準フォーマットです。
- ・ PAL M：これは主にブラジルで使用される標準フォーマットです。
- ・ SECAM：これは主にフランスとロシアで使用される標準フォーマットです。

DNR (デジタルノイズリダクション)の設定

DNR(デジタルノイズリダクション)を設定します。

例：“高”の設定

“オプション1”メニューで、“DNR”を選択します。リモコンでSETボタンを押して、“高”を選択します。

**お知らせ****■ DNR設定**

しない：DNR機能を無効にします。

低：DNR効果を弱く設定します。

中：DNR効果を通常に設定します。

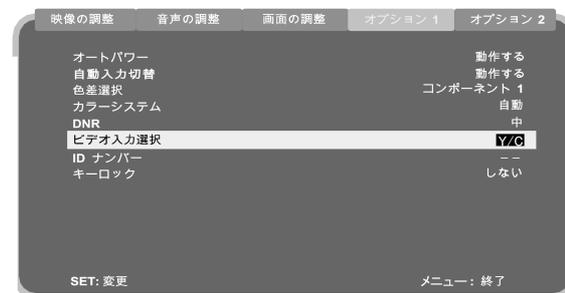
高：DNR効果を強く設定します。

ビデオ入力選択

INPUT3(入力3)用の入力信号を選択します。

例：“Y/C”を設定します

“オプション1”メニューで、“ビデオ入力選択”を選択します。リモコンのSETボタンを押して“Y/C”を選択します。

**お知らせ****■ ビデオ入力選択の設定**

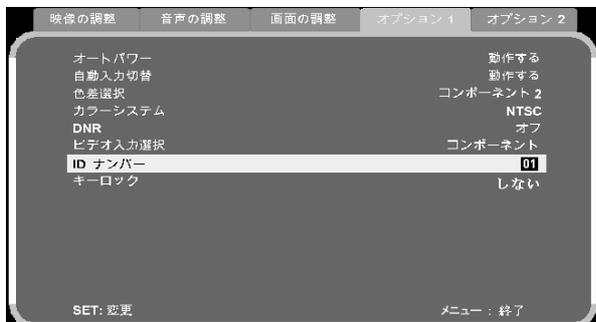
コンポーネント、Y/C、コンポジットの3項目を選択できます。

IDナンバーの設定

SERVICE ONLY端子での調整時に使用します。通常は設定不要です。

例：“01”を設定

“オプション1”メニューで、“IDナンバー”を選択します。←または→ボタンを押して値を変更します。



お知らせ

■ IDナンバーの設定

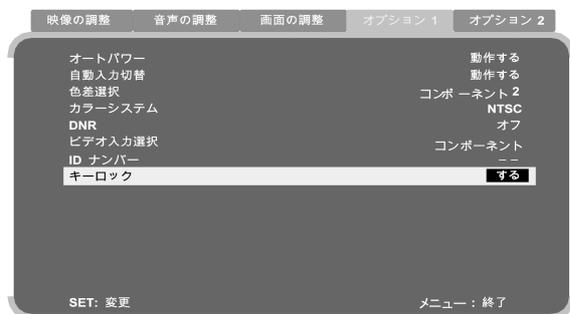
00からFFのID番号を設定できます。“--”は未設定を意味します。

キーロック

フロントパネルボタンでのコントロールの有効／無効を切替えます。

例：“する”の設定

“オプション1”メニューで、“キーロック”を選択します。リモコンのSETボタンを押して“する”を選択します。



お知らせ

■ キーロックの設定

する:フロントパネルのボタンを無効にします。

しない:フロントパネルのボタンを有効にします。

* キーロックが設定されても、POWER スイッチはロックされません。

オプション2メニュー

OSD表示用言語の選択

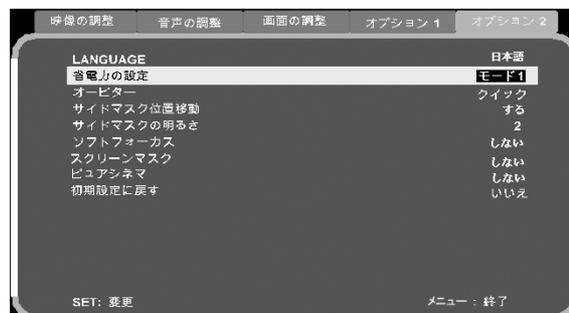
11ページの「メニュー言語の設定」を参照ください。

省電力の設定

省電力機能は、モニタの電力消費を削減します。

例：“モード1”の設定

“オプション2”メニューで、“省電力の設定”を選択します。リモコンのSETボタンを押して“モード1”を選択します。



お知らせ

■ 省電力の設定

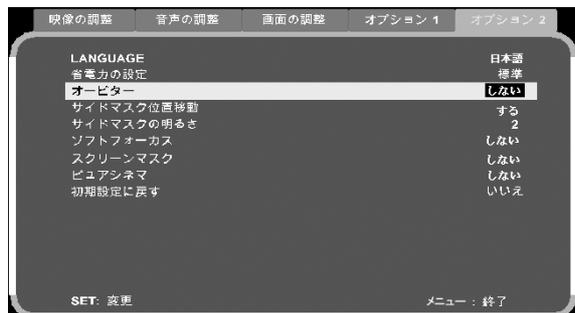
標準:標準の明るさにします。

モード1/2/3: 明るさはモード1,2,3の順番で下がります。モード3は最小の明るさになります。

オービターの設定

例：“しない”の設定

“オプション2”メニューで、“オービター”を選択します。リモコンのSETボタンを押して、“しない”を選択します。



お知らせ

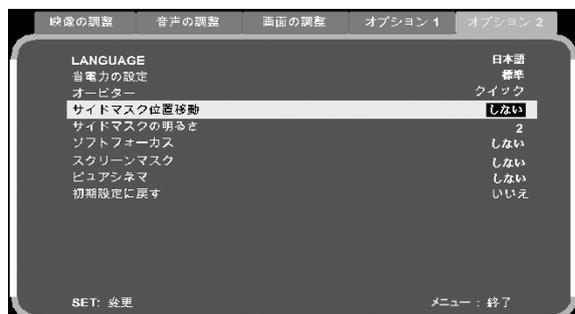
■ オービター設定

- ・ しない: オービター機能を無効にします。
- ・ ノーマル: 4分ごとに水平または垂直方向に1ドットのシフトを行います。最大シフトは ± 4 ドットです。
- ・ クイック: 2分ごとに水平または垂直方向に1ドットのシフトを行います。最大シフトは ± 4 ドットです。
- * この機能は4:3モード以外のすべての表示モードに対応します。

サイドマスク位置移動の設定

例：“しない”の設定

“オプション2”メニューで、“サイドマスク位置移動”を選択します。リモコンのSETボタンを押して“しない”を選択します。



お知らせ

■ サイドマスク位置移動

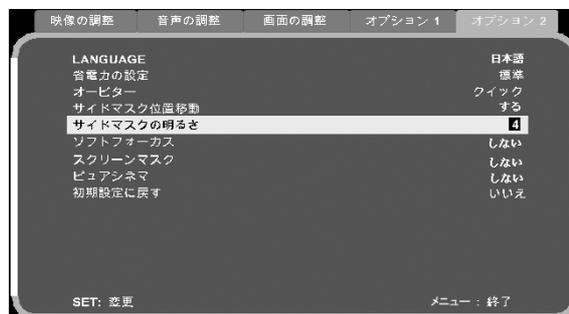
- ・ する: 2分ごとに水平または垂直方向に1ドットのシフトを行います。最大シフトは ± 4 ドットです。
- ・ しない: サイドマスク位置移動機能を無効にします。
- * この機能は4:3モードのみ対応します。

サイドマスクの明るさの設定

4:3モードおよびDOT BY DOTモード画面上で無表示部分の明るさを設定します。

例：“4”を設定

“オプション2”メニューで、“サイドマスクの明るさ”を選択します。リモコンでSETボタンを押して“4”を選択します。



お知らせ

■ サイドマスクの明るさの設定

画面サイドの黒(グレーレベル)の輝度を調節します。

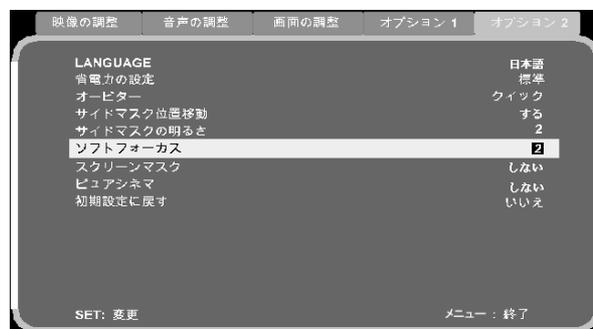
- ・ 0: サイドマスク機能をオフにします。
- ・ 1、2、3、4: サイドマスク設定を有効にします。大きい番号ほど明るい画像になります。

ソフトフォーカスの設定

映像のエッジを抑え、やわらかい映像にします。

例：“2”の設定

“オプション2”メニューで、“ソフトフォーカス”を選択します。リモコンのSETボタンを押して“2”を選択します。



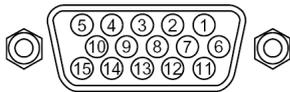
お知らせ

■ ソフトフォーカスの設定

- ・ しない: ソフトフォーカス機能を無効にします。
- ・ 1、2、3、4: ソフトフォーカス設定を有効にします。大きい番号ほど、よりソフトな画像になります。
- * ソフトフォーカスが有効のときは、“映像の調整”メニューの“シャープネス”は使用できません。

ピン配置

Mini D-Sub 15 ピンコネクタ(アナログ)



ピン番号	信号(レベル)
1	赤
2	緑または Sync-on Green
3	青
4	接続なし
5	GND
6	赤 GND
7	緑 GND
8	青 GND
9	接続なし
10	同期信号 TTL レベル
11	接続なし
12	双方向データ(SDA)
13	水平同期またはコンポジット同期
14	垂直同期
15	データクロック

信号レベル

ビデオ信号: 0.7Vp-p(アナログ)

同期信号: TTLレベル

信号フォーマットの設定一覧

入力信号	V-周波数 (Hz)	H-周波数 (kHz)	信号フォーマットの設定
640 x 400 PC98	70.1	31.5	自動 / 640 x 400
640 x 480 VGA	59.9	31.5	640 x 480 / 848 x 480 / 852 x 480 / 525p
	72.8	37.9	自動 / 640 x 480
	75.0	37.5	
	85.0	43.3	
848 x 480 WVGA	60.0	31.0	640 x 480 / 848 x 480 / 852 x 480 / 525p
852 x 480 WVGA	60.0	31.7	
800 x 600 SVGA	56.3	35.2	自動 / 800 x 600
	60.3	37.9	
	72.2	48.1	
	75.0	46.9	
	85.1	53.7	
1024 x 768 XGA	60.0	48.4	1024 x 768 / 1280 x 768 / 1360 x 768 / 1376 x 768
	70.1	56.5	1024 x 768 / 1280 x 768
	75.0	60.0	自動 / 1024 x 768
	85.0	68.7	
1280 x 768 WXGA	56.3	45.1	自動 / 1280 x 768
	59.9	47.8	1024 x 768 / 1280 x 768 / 1360 x 768 / 1376 x 768
	69.8	58.0	1024 x 768 / 1280 x 768
1280 x 1024 SXGA	60.0	64.0	自動 / 1280 x 1024
	75.0	80.0	
	85.0	91.1	
1360 x 768 WXGA	60.0	47.7	1024 x 768 / 1280 x 768 / 1360 x 768 / 1376 x 768
1376 x 768 WXGA	59.9	48.3	
1600 x 1200 UXGA	60.0	75.0	自動 / 1600 x 1200
	65.0	81.3	
	70.0	87.5	
	75.0	93.8	
	85.0	106.3	

サポートする入力信号

■ アナログRGB信号(PDP-50FX10/42FX10共通)

信号	V- 周波数 (Hz)	H- 周波数 (KHz)	ドットクロック (MHz)	H- 同期極性	V- 同期極性	備考
640 × 400 PC98	70.1	31.5	25.2	負	負	PC-9800 シリーズ
640 × 480 VGA	59.9	31.5	25.2	負	負	VESA スタANDARD
	72.8	37.9	31.5	負	負	VESA スタANDARD
	75.0	37.5	31.5	負	負	VESA スタANDARD
	85.0	43.3	36.0	負	負	VESA スタANDARD
848 × 480 WVGA	60.0	31.0	33.8	正	正	VESA スタANDARD
852 × 480 WVGA [*]	60.0	31.7	34.0	負	負	(株)アイ・オー・データ機器
800 × 600 SVGA	56.3	35.2	36.0	正	正	VESA スタANDARD
	60.3	37.9	40.0	正	正	VESA スタANDARD
	72.2	48.1	50.0	正	正	VESA スタANDARD
	75.0	46.9	49.5	正	正	VESA スタANDARD
	85.1	53.7	56.3	正	正	VESA スタANDARD
1024 × 768 XGA	60.0	48.4	65.0	負	負	VESA スタANDARD
	70.1	56.5	75.0	負	負	VESA スタANDARD
	75.0	60.0	78.8	正	正	VESA スタANDARD
	85.0	68.7	94.5	正	正	VESA スタANDARD
1280 × 768 WXGA ^{**}	56.3	45.1	76.2	負	負	PIONEER オリジナル
	59.9	47.8	79.5	負	正	CVT
	69.8	56.0	95.0	負	正	CVT
1280 × 800 [*]	59.8	49.7	83.5	負	負	CVT
1280 × 854 [*]	59.9	53.1	89.3	負	負	
1152 × 864 [*]	75.0	67.5	108.0	正	正	VESA スタANDARD
1280 × 1024 SXGA [*]	60.0	64.0	108.0	正	正	VESA スタANDARD
	75.0	80.0	135.0	正	正	VESA スタANDARD
	85.0	91.1	157.5	正	正	VESA スタANDARD
1360 × 768 WXGA ^{**}	60.0	47.7	85.5	正	正	(株)アイ・オー・データ機器
1376 × 768 WXGA [*]	59.9	48.3	87.3	負	正	(株)アイ・オー・データ機器
1600 × 1200 UXGA [*]	60.0	75.0	162.0	正	正	VESA スタANDARD
	65.0	81.3	175.5	正	正	VESA スタANDARD
	70.0	87.5	189.0	正	正	VESA スタANDARD
	75.0	93.8	202.5	正	正	VESA スタANDARD
	85.0	106.3	229.5	正	正	VESA スタANDARD
1680 × 1050 [*]	60.0	65.3	146.3	負	負	CVT
1920 × 1200 [*]	59.9	74.6	193.3	負	負	CVT
1920 × 1200RB [*]	60.0	74.0	154.0	負	負	CVT
640 × 480	66.7	35.0	30.2	Sync on G	Sync on G	Apple Macintosh 13"
832 × 624	74.5	49.7	57.3	Sync on G	Sync on G	Apple Macintosh 16"
1024 × 768	74.9	60.2	80.0	Sync on G	Sync on G	Apple Macintosh 19"
1152 × 870 [*]	75.1	68.7	100.0	Sync on G	Sync on G	Apple Macintosh 21"
1440 × 900 [*]	59.9	55.9	106.5	負	負	Apple Macintosh 17"
1280 × 1024 EWS4800 [*]	60.0	64.6	107.5	負	負	
	71.2	75.1	125.0	負	負	
1280 × 1024 HP [*]	72.0	78.1	135.0	正	正	
1152 × 900 SUN [*]	66.0	61.8	92.9	C sync	C sync	
	76.0	71.7	105.6	C sync	C sync	
1280 × 1024 SUN [*]	76.1	81.1	135.0	C sync	C sync	
1024 × 768 SGI	60.0	49.7	70.0	負	負	
1280 × 1024 SGI [*]	60.0	63.9	107.35	負	負	
1400 × 1050 SXGA+ [*]	59.978	65.3	121.75	負	正	CVT
	74.867	82.3	156	負	正	CVT
	84.960	93.9	179.5	負	正	CVT
720 × 480	59.94	31.5	27	Bi-レベル	Bi-レベル	
	59.94	15.73	13.5	Bi-レベル	Bi-レベル	
720 × 576	50	31.5	27	Bi-レベル	Bi-レベル	
	50	15.63	13.5	Bi-レベル	Bi-レベル	
1280 × 720 ^{**}	59.94	45	74.18	Tri_レベル	Tri_レベル	
	60	45	74.25	Tri_レベル	Tri_レベル	
	50	37.5	74.25	Tri_レベル	Tri_レベル	
1920 × 1080 [*]	59.94	33.75	74.18	Tri_レベル	Tri_レベル	
	60	33.75	74.25	Tri_レベル	Tri_レベル	
	50	28.13	74.25	Tri_レベル	Tri_レベル	

* : 圧縮表示(PDP-50FX10/42FX10共通)

** : 圧縮表示(PDP-42FX10のみ)

■ コンポジット映像信号・Y/Cセパレート映像

信号	V- 周波数 (Hz)	H- 周波数 (kHz)
NTSC (3.58 / 4.43)	59.94	15.75
PAL (B / G / D / K)	50	15.63
PAL_M	59.94	15.75
PAL_N	50	15.63
SECAM	50	15.63

■ コンポーネント映像信号

信号	V- 周波数 (Hz)	H- 周波数 (kHz)	ドットクロック (MHz)	H- 同期極性	V- 同期極性
720 × 480	59.94	31.5	27	Bi- レベル	Bi- レベル
	59.94	15.73	13.5	Bi- レベル	Bi- レベル
720 × 576	50	31.5	27	Bi- レベル	Bi- レベル
	50	15.63	13.5	Bi- レベル	Bi- レベル
1280 × 720	59.94	45	74.18	Tri_ レベル	Tri_ レベル
	60	45	74.25	Tri_ レベル	Tri_ レベル
	50	37.5	74.25	Tri_ レベル	Tri_ レベル
1920 × 1080	59.94	33.75	74.18	Tri_ レベル	Tri_ レベル
	60	33.75	74.25	Tri_ レベル	Tri_ レベル
	50	28.13	74.25	Tri_ レベル	Tri_ レベル

*¹ 852x480表示能力を持つグラフィックアクセラレータボードの使用時のみ。

- Apple および Macintosh は、Apple Computer Inc.の商標です。
- Microsoft は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- NEC および PC-9800 は、日本電気(株)の商標です。
- VESA および DDC は、Video Electronics Standards Association の商標です。
- VGA および XGA は、International Business Machines Corporation の登録商標です。

お知らせ

- 入力信号が上表の解像度に準拠していても、お使いになるコンピューターによっては、画像の位置やサイズの変更および微調整をする必要があります。
- 上記以外の、非標準信号が入力された場合に、表示が乱れることがあります。

故障かな？と思ったら

サービス(修理)を依頼される前に

故障と思われる前に、調整や取り扱い方、信号ケーブルの接触不良などをお調べください。

なお異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店、またはアフターサービス連絡先に修理を依頼してください。また、その他ご不明な点もお買い上げの販売店にご相談ください。

	このようなとき	確認してください	行ってください
本体関係	本体からときどき「ピシッ」と音がする	<ul style="list-style-type: none"> 画像と音声は正常ですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 映像や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。機能その他に影響はありません。
	画面に光る点、または光らない点がある	<ul style="list-style-type: none"> プラズマディスプレイの映像は微細な画素の集合です。 	<ul style="list-style-type: none"> 画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。
	映像が乱れる／雑音が混じる／リモコンが誤動作する	<ul style="list-style-type: none"> 本体の前面や真横に接続機器を設置していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 本体と接続機器の間隔をあげてください。
	ディスプレイのSTANDBY/ONインジケータが赤色と緑色で交互に、または、緑色が点滅している	<ul style="list-style-type: none"> 本体の異常を検出しています、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。 	
	本体のSTANDBY/ONインジケータが赤色のみ点滅している	<ul style="list-style-type: none"> 本体の内部温度が上がりすぎているためプロテクタが働いています。すぐに本体の電源を切り、内部温度が下がるまでお待ちください。 	
	映像が明瞭でない	<ul style="list-style-type: none"> コントラストの調整は合っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> リモコンで適正なコントラストに調整してください。☞13
	映像の「明るさ」、「コントラスト」などが調整できない	<ul style="list-style-type: none"> AVセレクションの設定が“ユーザー”以外になっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> AVセレクションを“ユーザー”に設定してください。
	本体前面のボタンをおしても、はたらかない	<ul style="list-style-type: none"> 【キーロック】が“する”に設定されていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> “しない”に設定してください。☞18
リモコン関係	リモコンのSTANDBY/ONボタンを押しても、ディスプレイの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 本体の電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 本体のSTANDBY/ONインジケータが消えていませんか？ リモコンの乾電池が消耗していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 本体の電源プラグをコンセントに差し込んでください。☞2 本体のPOWERボタンを押して、電源を入れてください。☞5 新しい乾電池に2本とも取り替えてください。(単4形電池をご使用ください)
	リモコンのボタンを押しても本体がはたらかない	<ul style="list-style-type: none"> リモコンを本体に向けて操作していますか？また、障害物はありませんか？ 本体のリモコン受光部に、直射日光や強い照明が当たっていませんか？ リモコンと本体のリモコン受光部の間が離れすぎていませんか？ リモコンの乾電池が消耗していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 本体のリモコン受光部に向けて、ボタンを押してください。また、障害物を取り除いてください。☞4 カーテンを閉めたり、照明をずらすなど光を弱めてください。☞4 リモコンを7m以内に近づけてください。☞4 新しい乾電池に2本とも取り替えてください。(単4形電池をご使用ください)



注意



電源を入れてからすぐに電源が切れ、STANDBY/ONインジケータが点滅した場合は、電源回路が正常でないことを示します。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または、アフターサービス連絡先にご相談ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

	このようとき	確認してください	行ってください
ビデオ関係	映像が出ない	● 本体の電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	● 本体の電源プラグをコンセントに差し込んでください。☞2
		● コンセントが異常ではありませんか？	● プレーカーがONしているか等確かめてください。
		● 接続した外部機器の電源が入っていますか？	● 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にしてください。
		● 外部機器との接続を間違えていませんか？	● 正しく接続してください。
		● 入力を選択を間違えていませんか？	● 接続を確かめてください？
		● VIDEO端子の接続を間違えていませんか？	● 接続を確かめてください。
	映像は出るが音が出ない	● AVセレクションの設定が“ユーザー”以外になっていませんか？	● AVセレクションを“ユーザー”に設定してください。
		● 音量が「消音」になっていませんか？	● リモコンのMUTINGボタンを押してください。☞7
		● スピーカーは正しく接続されていますか？	● スピーカーを正しく接続してください。
	VIDEO入力画面のとき映像が乱れる	● 外部機器の影響 ● ケーブルのゆるみはありませんか？	● 外部機器の位置をずらしてください。 ● 接続を確かめてください。
色あいが悪い・色が薄い	● 色あい、色の濃さの調整がずれていませんか？	● 【色あい】、【色の濃さ】を調整してください。☞13	
PC関係	画面が何も映らない	● パソコンの電源が入っていますか？	● パソコンの電源を入れてください。
		● パソコンを接続していますか？	● 本体にパソコンを接続してください。
		● パワーマネジメント機能が、はたらいていませんか？	● パソコンを操作(マウスを動かすなど)してください。
	RGB入力画面のとき映像が乱れる	● RGB端子の接続を間違えていませんか？	● 接続を確かめてください。
	映像が欠けている、または中央からずれている	● 画面の位置調整は適切ですか？	● 垂直／水平位置調整で調整してください。☞15
	映像が大きすぎる、または小さすぎる	● 画面サイズの調整は適切ですか？	● 画面の調整で調整してください☞15
映像が乱れる	● パソコンの表示解像度は適切ですか？	● 正しい解像度に設定してください。☞16、21	



お願い

静止画像を長時間表示しないでください。パネルが焼き付きを起すことがあります。

■ STANDBY/ON ランプの点灯状態

	状態	STANDBY/ONランプ
通常時	主電源「ON」	緑
	リモコンにて電源「OFF」(スタンバイ状態)	赤
	主電源「OFF」	消灯
異常検出時	温度異常警告	赤点滅
	パネルダメージ	赤と緑で交互に点滅
	温度センサの異常	緑点滅

温度プロテクタについて

本体の内部温度が非常に高くなると、温度プロテクタがはたらき本体の電源が切れます。

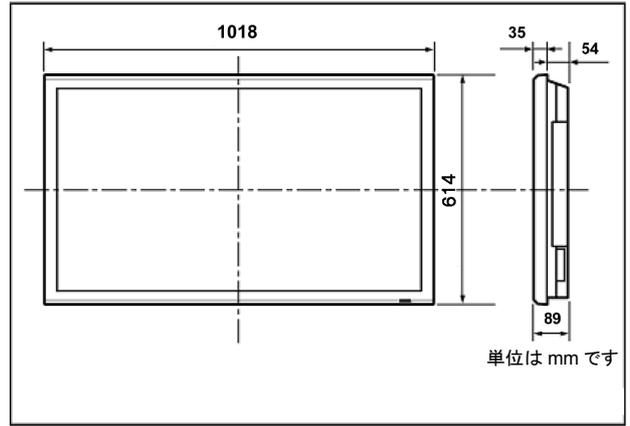
このようときは、以下のことを行ってください。

1. 主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 次の事項を確認し、必要な処置をしてください。
 - 周囲の温度が高い場所において使用しているときは、適切な場所(気温 0℃~40℃)に設置しなおしてください。
 - 周囲に 50mm 以上間隔を開け、通風孔をふさがらないでください。また、通風孔のほこりを掃除してください。
 - 本体の温度が下がるまで、約 60 分待ってください。
3. 以上のことを行っても解決しないときは、販売店にご相談ください。

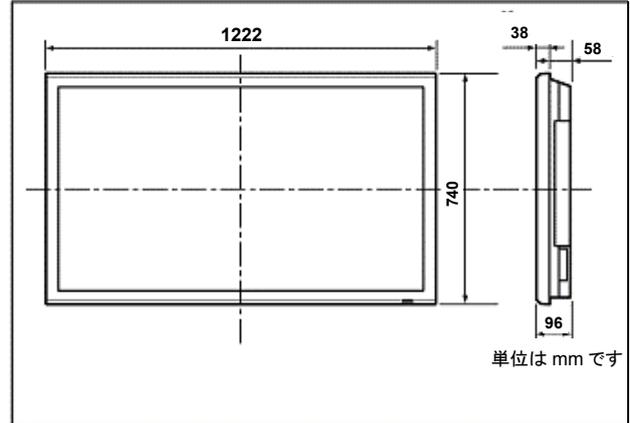
製品仕様

画面サイズ	
PDP-42FX10	918 (H) x 518 (V) mm 42V 型プラズマパネル
PDP-50FX10	1106 (H) x 622 (V) mm 50V 型プラズマパネル
アスペクト比	
16:9	
画像数	
PDP-42FX10	1024 x 768
PDP-50FX10	1365 x 768
対応映像信号	
RGB, NTSC (3.58/4.43), PAL (B,G,M,N), SECAM	
入力端子	
INPUT1(入力1)	Mini D-sub 15ピン x 1、音声ステレオミニジャック x 1
INPUT2(入力2)	Mini D-sub 15ピン x 1、音声ステレオミニジャック x 1
INPUT3(入力3)	コンポジット: RCAピン x 1 Sビデオ: Sビデオ DIN 4ピン x 1 コンポーネント: RCAピン (Y、Pb/Cb、Pr/Cr) x 1 音声、ステレオRCA x 2
サービス用端子	
D-sub 9ピン x 1	
音声出力	
8W+8W(6Ω)	
電源	
AC100V 50/60Hz	
消費電力	
PDP-42FX10	270W(待機消費電力1.7W)
PDP-50FX10	360W(待機消費電力1.7W)
外型寸法	
PDP-42FX10	1018 (W) x 614 (H) x 89 (D) mm
PDP-50FX10	1222 (W) x 740 (H) x 96 (D) mm (取っ手を含む)
質量	
PDP-42FX10	29.5kg
PDP-50FX10	44kg
動作条件温度	
0°C~40°C	

PDP-42FX10



PDP-50FX10



- * この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。
- * 本体の寸法表示には、ネジ等の突起物は含まれておりません。

保証とアフターサービスについて

保証書(別に添付してあります)について

保証書は、必ず「取扱店名、購入日」などの記入を確かめ取扱店から受け取っていただき、内容をよくご確認の上、大切に保管してください。

ご注意

- 画素欠けについては故障・不良ではありませんので、保証の対象外とさせていただきます。
- お客様のご使用過程で発生したディスプレイの焼き付きも、保証の対象外です。
- 「安全上のご注意」(i~iv ページ)および「使用上のご注意」(v ページ)をよくお読みの上、正しくご使用になることをお奨めします。

保証期間と保証内容について

●保証期間について

保証期間は、取扱説明書の注意に従った使用で、ご購入日より1年間です。詳細は保証書をご覧ください。

● 次のような場合には保証期間中及び保証期間経過後に関わらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。

本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせ使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

● 故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失(逸失利益)は保証期間中及び保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後8年間保有しています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分いたしましょう。テレビの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。近所への音が漏れないように窓を閉めたりして、お互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。



修理を依頼される時

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

お願い

保証内容によっては、製品全体を取り外すが必要になります。その場合には、設置業者に依頼しなければサービスを行えない場合がありますのであらかじめご了承ください。

●保証期間中は

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご相談ください。保証書の規定に従って修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・製品型番・ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標(建物、公園など)

●保証期間が過ぎているときは

アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

アフターサービス連絡先

TEL _____

FAX _____

管理会社名 _____

担当者名 _____

所在地 _____

休日/夜間PM _____ ~AM _____

TEL _____

JIS C 61000-3-2適合品

©2005 パイオニア株式会社 禁無断転載

パイオニア株式会社  153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

Printed in China
HDPH3002017